

行政の窓

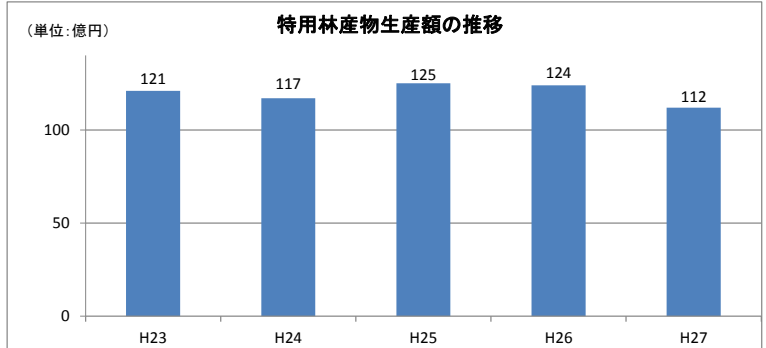


平成27年 特用林産統計について



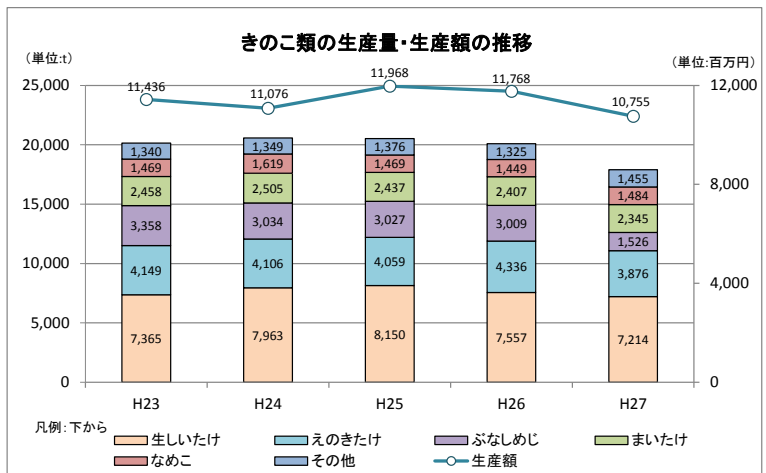
【特用林産物生産額】

道内の平成27年の特用林産物総生産額（推計）は、約112億円（対前年比0.9%）となっています。ほとんどの品目で生産量が減少しましたが、特に、「生しいたけ」、「ぶなしめじ」は大幅に減少しています。



【きのこ類の生産動向】

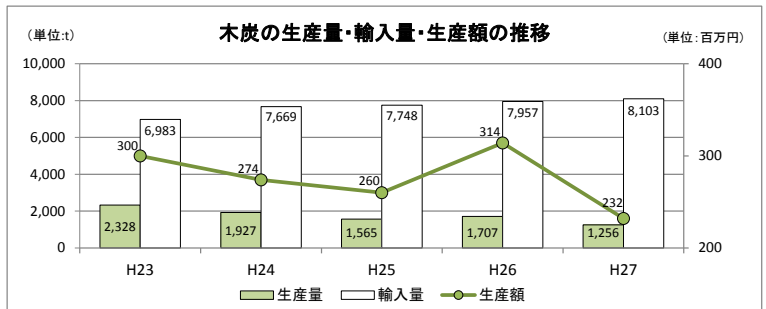
平成27年の生産額（推計）は、約108億円（前年比91.4%）、生産量は17,900 t（同89.1%）となっています。このうち、道内で最も生産量の多い「生しいたけ」は、原木、菌床あわせて、生産額が約53億円（前年比89.3%）、生産量が7,214 t（同95.5%）と近年減少傾向にあります。



生しいたけの栽培形態では、菌床栽培の生産量が96.9%を占めます。その他の主なきのこの生産量では、えのきたけ3,877 t（前年比89.4%）は減少し、なめこ1,484 t（前年比102.4%）が増加しています。

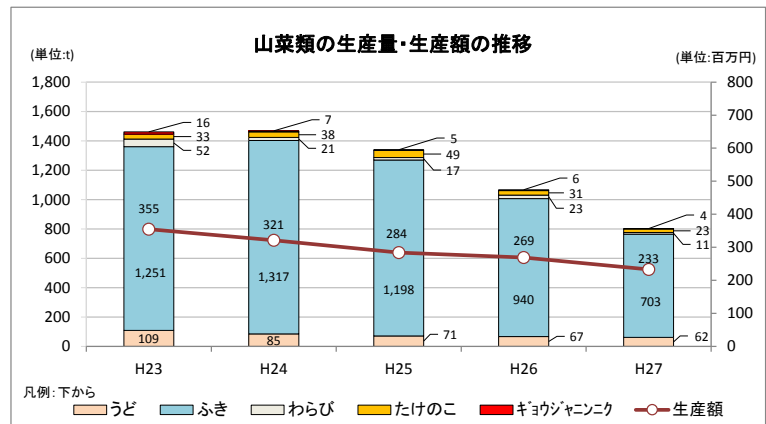
【木炭の生産動向】

平成27年の生産額は、232百万円（対前年比74.0%）、生産量は1,256 t（同73.6%）と減少しました。また、輸入量は昨年に続き増加し8,103 t（対前年比101.8%）となっています。



【主な山菜類の生産動向】

平成27年の生産額は、233百万円（対前年比86.6%）、生産量は803 t（同75.4%）と減少しました。



(水産林務部林務局林業木材課流通加工グループ)